

## 第 20 回 重点方針専門調査会 議事要旨

(開催日時等)

- 1 日時 令和元年5月21日(火) 10:00~11:33
- 2 場所 合同庁舎8号館8階特別中会議室
- 3 出席者 ※肩書は開催当時  
会長 佐藤 博樹 中央大学大学院戦略経営研究科教授  
議員・委員 小山内 世喜子 男女共同参画地域みらいねっと代表理事  
白河 桃子 少子化ジャーナリスト、作家、相模女子大学客員教授  
末松 則子 三重県鈴鹿市長  
鈴木 準 株式会社大和総研政策調査部長  
高橋 史朗 麗澤大学大学院特任教授・モラロジー研究所教授  
種部 恭子 医療法人社団藤聖会女性クリニック We!TOYAMA 代表  
辻村 みよ子 明治大学専門職大学院法務研究科教授  
徳倉 康之 NPO 法人ファザーリング・ジャパン理事、  
株式会社ファミリーエ代表取締役社長  
堀江 敦子 スリール株式会社代表取締役  
横田 響子 株式会社コラボラボ(女性社長.net 企画運営) 代表取締役  
渡辺 美代子 国立研究開発法人科学技術振興機構副理事

(議事次第)

- 1 開会
- 2 議事
  - ・ 女性活躍加速のための重点方針2019(案)について
- 3 閉会

(議事概要)

- 女性活躍加速のための重点方針 2019(案)について、事務局から説明の後、意見交換を行った(資料1)。
- 意見交換後、修正について佐藤会長一任となり、男女共同参画会議において報告することとなった。

(委員等からの主な発言)

【総論】

- ・ 「はじめに」において上場企業における女性役員数は平成24年と比較して約2.7倍に増加したとの成果に触れているが、実態を鑑みると成果のみでとどめた記述としてよいか。
- ・ 「はじめに」にある237万人の就業希望者には、就学中、健康上の問題を抱える140万人の人がいる一方、求職中の希望者も80万人いる。
- ・ 各取組の連携機関として男女共同参画センターを明記してほしい。
- ・ 各取組の時限を可能な限り記載するという方針で再度確認してほしい。

### 【安全・安心な暮らしの実現】

- ・ 婦人保護事業の見直しの検討について、「婦人保護事業」という名称の変更・改善もよめるような記載ぶりにしてほしい。
- ・ 女性のほうが男性よりも健康寿命と平均寿命の差が大きく、相対的に介護ニーズが大きいことも踏まえて、女性の健康支援の強化が必要との認識を入れてほしい。
- ・ 健康経営の取組の促進だけでなく、それらを通じて女性の健康リテラシーを向上させる等を追記してほしい。
- ・ 面会交流中に子供が殺されるといった事件があったが、面会交流を円滑に行うための支援について追記を検討してほしい。
- ・ ひきこもりについての実態の周知について、そもそも実態の背景や課題の分析が必要ではないか。

### 【あらゆる分野における女性の活躍】

- ・ 雇用類似も含めた多様な働き方に向けた取組が記載されており、未来につながるという感触。「就労・就業」という言葉からは組織で働くことが先に想起されてしまうため、「起業」という言葉の特記してほしい。
- ・ 雇用類似の働き方に関する保護等のあり方について、起業者の3割程度が一人起業であることを鑑み、例示に「一人起業」と追加してはどうか。
- ・ 男性の意識を変えるためには、妻、パートナー、配偶者が妊娠・出産したタイミングに合わせた取組が重要。人口が減少している自治体では出生数そのものが少ないため、両親学級といった取組の実施がなく、男性育休取得率も低いままなのではないか。
- ・ エシカル消費について、特に関心の薄い層は若年男性だけなのか。若年男性に焦点を当てた啓発に取り組むことによって全体の層に活動が普及するといった表現のほうがよいか。
- ・ 男性のワーク・ライフ・バランスを推進する理由の1つとして介護にも触れるべき。
- ・ 少なくとも政府の発行物において、育児をするイラスト・写真では男女両方の姿を使うように徹底できるとよい。
- ・ 政治分野を新たに章立てしていただき、非常にありがたい。一方、記載内容はこれまでとあまり変化がないように見受けられるが、もう少し踏み込んだ書きぶりを検討してほしい。
- ・ 女性の参画拡大に資する環境整備について、企業や団体だけでなく大学での取組も重要。
- ・ 企業における女性役員登用等の推進は、企業価値の変化やそうした人材の必要性も踏まえつつ、戦略的に取り組んでいく課題だと思料。
- ・ 女性起業家支援ネットワーク事業について、地域による支援の定着状況を把握することもフォローアップできるか検討してほしい。
- ・ 起業に対する資金繰り支援について、起業意欲のある女性だけでなく、起業後間もない女性にも対象を広げる必要。
- ・ 地域のロールモデルとしての起業家にも賞を授与している女性のチャレンジ賞についても、追記してほしい。
- ・ 国際的な取組の1つとして、女性差別撤廃委員会への報告書の提出に向けた取組を追記すべき。
- ・ メディア分野における女性の活躍について追記すべき。

**【女性活躍のための基盤整備】**

- ・ジェンダー統計の充実について、項目を追加して記載内容を分割し、わかりやすく丁寧な文章にしてほしい。
- ・女性にとって魅力的な地域づくりを進めるためには、都道府県が計画を策定する段階において、ジェンダー統計を必ず活用するよう促進してほしい。
- ・子育て整備基盤の際に児童虐待防止に向けて、どのような配慮が必要かを書き込む必要。
- ・液体ミルクの地域防災への活用について、利便性だけでなく、保管方法や母乳育児の重要性などについても情報提供してほしい。

(以上)